



ひたちなか商工会議所 ビジョン

ヒタチナカノカタチ 2024»2033
HITACHINAKA STYLE

◆ ひたちなか市の今後と商工会議所ビジョン

～「中小企業の活力強化」と「地域経済の活性化」へ向けて

ひたちなか市の生産年齢人口のピークアウトは2000年前後、全国のピークアウト（1995年）よりも若干遅く、人口減少のスピードは全国よりもなだらかである。また、ひたちなか市には大手メーカーの工場進出もあり、ひたちなか地区を中心とする経済の活性化も期待される。

一方、産業全体でみると人口減少等に起因する市場の縮小の中で、売上低下回避を目的とした「持続的な成長」努力を継続している事業者が多い状況もあり、今後は地域産業の売り上げが横ばい以下となる傾向が懸念される。

今後のひたちなか商工会議所の運営においては、成長のみを前提とした運営から、「成長産業の発展対策」と「不活性化する地域経済対策」という両視点を持って施策を考え、財政面にも配慮し、緊張感をもった運営をすることが必要になると思われる。

Vision 1

事業

「環境変化に対応できる企業力強化、イノベーションの創出支援」

① 商工会議所事業を確実に実行する仕組みの導入 ～進捗効果検証による環境変化への柔軟、迅速な適応

「ローリングビジョン運営」

◆事業目的を明確にし、全ての事業に3～5年の活動期間を設定しローリング運営実施

「ビジョン運営のための委員会等の設置」

◆PDCAを回す仕組み。ビジョンの進捗管理、環境変化に対応した修正、舵取り責任

② 企業成長によるイノベーション・成長創出支援 ～変化に強い企業力を生み出す

「会員事業所の企業レジリエンス「環境変化に強い復元力」向上支援」

- ◆自己変革意識の醸成と、変革による経営基盤強化に臨む経営者育成
- ◆イノベーション創出に向けた事業再構築、モデル事業の策定支援、融資制度の充実
- ◆変革推進に必要な多様な人材の活躍推進と産業人材の育成、リスクリングの推進

「創業・スタートアップ支援」

- ◆「スタートアップサポートセンター」設置。起業に必要な情報収集の一元化相談窓口
- ◆起業家スキル向上支援。「簡易版創業スクール」、「創業後の継続的活動支援」実施
- ◆若手创业者の発掘、廃業・創業マッチング支援、地域ネットワーク形成実施

③ デジタル化によるビジネス変革支援 ～デジタルツールを活用して生産性向上や新規事業開拓を図る

「会議所会員のデジタル力」の創出」

◆会員経営者に対するデジタル化・DXに向けた意識改革のための啓蒙活動

「先進的なDXの推進（モデル事業）」

◆先進的なデジタル活用事例やDX事例の発信により中小企業のデジタル実装促進

「デジタルリテラシー向上支援（底上げ事業）」

◆「デジタル化乗り遅れ企業」の経営者の意識改革、社内人材の育成プログラムの提供

「マッチングプラットフォームの構築」

◆共有プラットフォームによる経営資源（人材、技術、設備等）やビジネス情報（販路等）の相互活用支援

④ 社会課題への対応支援 ～成長・進化する社会経済への対応力向上を図る

「新たな成長分野への参入支援」

- ◆「SDGs」や「カーボンニュートラル」等、世界の潮流を機会として捉え、自社経営で取り組むための支援
- ◆超高齢化時代を迎えフレイル世代（要介護前世代）を対象にしたビジネスチャンスの創出

「中小企業の海外展開支援」

◆海外展開に取組む企業の好事例の横展開、海外展示会活用セミナー開催など海外展開を支援

「経済法制度改正／法務対応力強化支援」

◆法制度改正や取引契約の重要性等、関係機関と連携した普及啓発による対応力強化支援

⑤ 商工会議所事業の認知度／貢献度向上 ～商工会議所のブランディングと地域・起業支援活動のレベルアップ

「商工会議所活動の認知度／貢献度向上」

◆会員が魅力と感じるサービスの提供、オンラインによる地域コミュニティ運営、効果検証

「次世代に向けた会議所資産の有効活用」

◆常設委員会による推進（本所、支所の在り方、補修・改修、有効活用）

「イベント等事業の在り方見直し」

◆継続、効果的活用の検討、休止・廃止の「見直しルール」の策定

Vision

時代を Catch, 次代へ Challenge!
ひたちなか商工会議所

Vision 2

地域「地域の成長ポテンシャルを高め地方創生を力強く推進」

① 高付加価値で持続可能な観光地づくりに関する取り組み

「地域観光資源のブラッシュアップ（非日常性・コト体験等の価値追加）による高付加価値化」

- ◆ ひとちなかならではの高付加価値な観光地づくりに関する調査研究と内外への情報発信

「高付加価値な観光地についての地域共通の認識を作り、民間主導での取り組み推進」

- ◆ 大規模イベントとタイアップした地域観光資源の掘り起こしと魅力開発
- ◆ 観光DXの推進（誘客の仕組み、魅力度向上等）

② ひとちなかのまちなか振興に向けた取り組み

「新たな次元でのまちなかの魅力を新たな視点を加えて再生」

- ◆ 地域住民視点によるひとちなかのまちなか魅力開発
- ◆ 域外からの観光客のまちなかへの回遊の強化
- ◆ 街中の「空き家」「空き店舗」活用によるまちなか起業促進

③ 災害や感染症に強い地域レジリエンス（復元力）向上とサステイナブルな地域の実現

「地域レジリエンス向上とサステイナブルな地域方向性を定め、地域の理解を増進」

- ◆ 地域レジリエンス向上・サステイナブルな地域実現方法の方向性設定、理解向上のための啓蒙
- ◆ 地域事業所へのBCP導入とサステイナブルな取り組みの促進

④ 新商品開発・販路拡大による地域ブランドの強化・拡大

「市民が域外に持ち出したいくなる「ほしいも」「たこ」に続く地域商品の開発」

- ◆ 生活者の意見を取り入れた地元に愛される商品開発
- ◆ ふるさと納税を活用した地域ブランドの知名度アップ

「国内外へ向けた地域ブランドの強化・拡大」

- ◆ デジタルマーケティング活用で地域ブランドの国内外発信
- ◆ 越境EC等を活用した地域商品の海外向け知名度アップ

⑤ 人口減少対策としての起業しやすく、住みやすく、働きやすい地域作り

「会議所の支援や地域事業者からの手助けなど、創業に関心が高く起業しやすい地域環境を創出」

- ◆ 都市部等他地域からの移住者による起業を地域が支援
- ◆ 女性や高齢者のミニ起業の支援（事業の場、共同販促等の提供）

「他地域からの移住者や子育て世代、外国人等が働きやすい地域づくり」

- ◆ 子育て支援、職業訓練、リスニング等働きやすい地域作りを行政へ提言
- ◆ 外国人も働きやすく、起業しやすい地域づくり
- ◆ 事業者&起業家が共に学ぶビジネススクールの実施

Vision 3

組織「地域に必要とされる組織、存在になるために」

① 会員増強と会員満足度の向上

「中小事業者数減少が見込まれる中での会員規模の維持・拡大」（組織率向上による会員数の維持、活動参加率の向上）

- ◆ 会員増強運動及び会員事業所巡回訪問の継続実施
- ◆ 商工会議所活動と会員メリットの視覚化
- ◆ 商工会議所のプレゼンス強化
- ◆ 会員事業者の声に基づく政策提言の実施

② 組織・財政基盤の強化

「商工会議所機能の強化」

- ◆ 地域社会とのさらなる信頼関係の構築による「商工会議所」ブランドの強化
- ◆ 事業環境の変化に即した委員会の活動
- ◆ 会員の経営力強化、ネットワーク創出力向上に資する部会・ブロック運営の検討
- ◆ 将来を担い、柔軟に行動を起こす青年部や女性会との連携

「安定した財源確保と費用対効果」

- ◆ 会員数増加による会費収入増加、共済等事業収益・会館収入増加
- ◆ LED化・省エネ・ペーパーレス（カーボンニュートラル対応）

③ コンプライアンスとセキュリティの確立

「コンプライアンスの徹底」

- ◆ 規定・マニュアルの作成・更新と職員の意識強化

「情報セキュリティの強化」

- ◆ 適切な情報管理ツールの導入・更新と職員の意識強化

「事業継続計画（BCP）の確立」（災害時等の経営相談・支援、データ・事務機能の維持）

- ◆ BCPの明文化と定期的な見直しおよび行動確認（年1回以上）

④ 関係機関との連携強化

「外部リソースの活用」

- ◆ 関係諸機関との連携による事業推進（地域や市民の参画を含む）
- ◆ 他地域商工会議所との交流・連携、成功事例の導入

⑤ 職員の資質向上と働き方改革

「職員のスキル向上・人材開発」

（計画的な人材開発、スキル獲得意欲を高める制度導入、「組織が人を作る」組織体質の醸成）

- ◆ 「職員のキャリアアップ宣言」と周りの人の「実現への支援」
- ◆ 現状に即した職務内容と職務権限の明確化と変化に応じた機敏で柔軟な運用
- ◆ ビジョンの浸透による会議所職員であることの自信・誇りの醸成
- ◆ 自ら課題を解決できる職員の育成

「業務の効率化」

- ◆ 業務の棚卸しと業務プロセスの見直し、生成AI等を活用した事務の効率化

「一人ひとりが生き生きと働ける職場づくり」

（業務負担の不公平感解消、ダイバーシティ、ワークライフバランス、働き方改革）

- ◆ 勤務環境の柔軟性向上（職員による検討チームの設置）
- ◆ 職場環境改善に向けたマネジメントスキル向上（自己管理能力を含む）

